

事務事業調書	No	374	課名	健康推進課	起案者	廣村聰
平成23年度			係名	予防係	決裁者	深津隆
事業種別	施設管理	区分	継続		業務一覧No	
事務事業名	保健センター施設管理事業				他係名	
					他係業務一覧No	

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり 1 健康 4 地域医療 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策	予算科目(会計)	一般会計
		予算科目(款・項・目)	20-5-35
		総合計画以外の計画	
		関連する総合計画の施策	
性質区分	市の内部事務事業	法定受託事務	無
根拠法令	無		
実施方法	一部委託	委託先	民間企業
実施期間	開始 昭和63年度	経過 23年目	終了
公約・議会答弁	無		
陳情・市民要望	無		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	保健センター利用者が ～になる	安全かつ快適に利用できる。
事務事業の内容	利用者が安全かつ快適にサービスを受けることができるよう、施設を維持管理し、提供します。		
事務事業進捗状況	H22 清掃委託料 実績 3,561,600円 駐車場賃借料 実績 13,084,359円 システム賃借料 実績 5,343,660円		
改善・対策の履歴	平成21年度に保健衛生システムの機器のリプレースを実施した。 平成22年度に空調設備修繕、自家発電機修繕を実施した。		
環境配慮の視点	環境目標○－基本的施策○－具体的施策○		

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度
	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)
総事業費 f=a+d+e	59,626	58,440	45,965	46,344	51,016	51,608	53,821
財源計a	56,162	54,976	44,082	44,461	47,251	47,843	49,303
コスト 財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	4,830	2,000
	市債	0	0	0	0	0	0
	その他()	0	0	0	0	0	0
	一般財源	56,162	54,976	44,082	44,461	47,251	43,013
受益者負担金	0	0	0	0	0	0	0
職員人件費d	3,464	3,464	1,883	1,883	3,765	3,765	4,518
内訳 従事職員数	0.46	0.46	0.25	0.25	0.50	0.50	0.60
人事課予算分人件費e	0	0	0	0	0	0	0

4 求める成果を得るための活動

				年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
活動	活動①	活動名 (活動内容)	保健センター清掃委託	見込(単位)	1.00	1.00	1.00	1.00
				実績b(単位)	1.00	1.00	1.00	
	活動②	指標名(単位)	委託事業(式)	活動の総事業費f 実績	3,204	3,788	3,863	
				単位コストg=f÷b 実績	3,204.30	3,787.90	3,863.20	
	活動③	活動名 (活動内容)	駐車場用地賃借	見込(単位)	1.00	1.00	1.00	1.00
				実績b(単位)	1.00	1.00	1.00	
活動	活動②	指標名(単位)	駐車場用地賃借(式)	活動の総事業費f 実績	12,768	13,311	13,386	
				単位コストg=f÷b 実績	12,768.30	13,310.90	13,386.20	
	活動③	活動名 (活動内容)	保健衛生システム機器賃借	見込(単位)	1.00	1.00	1.00	1.00
				実績b(単位)	1.00	1.00	1.00	
	活動③	指標名(単位)	保健衛生システム機器賃借(式)	活動の総事業費f 実績	5,922	5,369	5,796	
				単位コストg=f÷b 実績	5,921.60	5,369.20	5,795.80	

5 (1) 成果の目標と実績

成果	成果1	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
			見込(単位)	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績(単位)	0.00	0.00	0.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度		平成26年度	
	成果2	指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
			見込(単位)	0.00	0.00	0.00	0.00
			実績(単位)	0.00	0.00	0.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
	目標成果指標値		0.00	目標達成年度		平成26年度	

5 (2) 成果1、2以外の成果

成果	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入				
	センターの事業増（健康相談等）および平日夜間診療が平成22年4月より開始されたことにより、電気、都市ガス、水道の使用量増につながっている。				

6 単位コストと成果の分析

分析	項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
	単位コスト	清掃委託料の増額、土地評価替えによる借地料の増額によりコストが増大した。保健衛生システム機器賃借料は21年5月にリプレースリースしたので、平成21年度は通年契約より経費が若干少なくなっていたが、平成22年度は通常の契約になったので増大した。
	成果1,2	利用者に直接関わる不具合などには速やかな処置をとった結果である。

7 所属長の改善案

改善	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する	
	20、21年度と事業拡大により府車が4台増加し、ガソリン代が増加しています。近接地域（特に本庁）へ行く場合は、極力自転車を利用して、ガソリン使用量の抑制に努めます。電気、都市ガス、水道の使用量を抑制するよう対策をとります。	

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
維持・継続	保健センター開設より23年が経過し、老朽化がみられるようになってきたため、利用者に迷惑にならないように、予算やISO14001を念頭において修繕計画を立案していきます。